

第2 農業生産の現況及び見通し

1 重点作目の概要

作物	現状	今後の方針
米	本市農業産出額のおよそ45%を占める基幹作物であり、中心品種として「ひとめぼれ」、「ヒノヒカリ」が栽培されている。 市内全域で栽培されているが、農家の高齢化が進んでおり、作付面積の維持が課題となっている。	加工用米、飼料用米等の新規需要米への作付けへの転換を推進するとともに、「にこまる」等の高温対策・多収性に優れた品種の作付拡大を図っていく。
麦	主食用米の需要が減少し、転作が奨励される中で作付面積の増加傾向が続いている。	山口県の奨励品種である「せときらら」の栽培面積の拡大を推奨していくとともに、実需に応じた優れた品質の確保を図る。
野菜	施設栽培については、春菊・小松菜等の軟弱野菜の生産が盛んであるとともに、青年農業者によるトマトやイチゴの生産が定着している。 露地栽培については水田を活用したタマネギの生産が盛んであり、担い手や農事組合法人を中心に農地集積による産地拡大を進めている。	施設野菜は施設の大型化や省力機械の導入等により、生産規模の拡大及び生産・流通の低コスト化を図る。 露地野菜については、引き続き担い手や農事組合法人への農地の集積を進め、生産規模拡大を通して産地化を推進する。 有機質資材の利用等による農業生産における環境負荷低減の取組を推進し、作物の付加価値の向上を目指す。
果樹	温州みかんの栽培が盛んで、市内全域にわたって栽培がされている。 温州みかんの中でも、糖度や外見等の基準を満たした高品質のものは「天神みかん」としてブランド展開されている。 生産者の高齢化や農地の荒廃化が著しく、生産量は減少傾向にある。	省力機械の導入等による生産・流通の低コスト化による、持続可能な果樹栽培を推進し、既存生産者の継続的な生産と新規就農者等の担い手の確保を目指す。 みかんについては、地域ブランドである「天神みかん」及び山口県オリジナル柑橘ブランドである「ゆめほっぺ」の生産を奨励し、認知度の向上を目指す。
花き	カーネーション、ユリ、菊等の切り花の生産が大半を占めている。また、大道地区では、平成3年から水田転作作物としてレザーファンの栽培に取り組み、八丈島、種子島に次ぐ日本の3大産地として定着している。	切り花及びレザーファンの安定出荷と品質の確保による、ブランド力の向上を目指す。 また、県オリジナル品種の「やまぐちオリジナルユリ」を、低価格で安定供給できる体制づくりを促進し、産地拡大を推進する。

畜産	法人及び個人生産者によって、肉用牛、酪農経営が実施されている。	持続的な農畜産物の生産体制づくりに向け、自給飼料の生産拡大を促進するとともに、生産コストの低減を図り、生産の継続を推進する。 また、飼料を供給する耕種農家と堆肥を供給する畜産農家との耕畜連携による環境にやさしい資源循環型農業を推進する。
----	---------------------------------	---

2 農業生産の動向及び見通し

作 目	平成 22 年		平成 27 年		令和 2 年 (現況)		令和 12 年 (見通し)	
	作(飼 付養 面頭 積羽 数)	生 産 量	作(飼 付養 面頭 積羽 数)	生 産 量	作(飼 付養 面頭 積羽 数)	生 産 量	作(飼 付養 面頭 積羽 数)	生 産 量
米	ha 1,280	t 6,280	ha 1,130	t 5,630	ha 944	t 3,490	ha 944	t 3,490
麦 類	49	123	110	287	117	457	124	486
雑穀豆類	9	7	4	2	2	1	2	1
い も 類	13	179	9	135	15	215	15	215
野 菜	324	5,802	291	5,200	262	4,660	262	4,660
(仔ゴ)	10	124	8	107	5	113	5	113
(春菊)	2	65	2	49	1	13	3	38
(小松菜)	2	12	2	14	2	16	2	16
(ほうれん草)	15	162	13	146	9	77	9	77
(白菜)	9	204	7	168	5	124	5	124
(玉ねぎ)	21	723	25	576	20	484	20	484
(白ネギ)	13	112	11	92	9	72	9	72
(トマト)	4	68	4	60	4	118	4	118
(はなっこりー)	1	7	2	8	3	9	3	9
果 樹	110	768	102	708	93	554	93	554
(みかん)	65	693	60	630	55	567	55	567
花 き	a 1,153	千本 4,476	a 1,337	千本 3,134	a 955	千本 2,476	a 955	千本 2,476
(カーネーション)	170	1,530	48	514	63	825	63	825
(ユリ)	-	-	93	218	46	158	46	166
(菊)	41	183	38	80	12	40	12	40
(レザーフアン)	600	1,280	541	1,216	438	834	438	834

作 目	平成 22 年		平成 27 年		令和 2 年 (現況)		令和 12 年 (見通し)	
	作(飼 付養 面頭 積羽 数)	生 産 量	作(飼 付養 面頭 積羽 数)	生 産 量	作(飼 付養 面頭 積羽 数)	生 産 量	作(飼 付養 面頭 積羽 数)	生 産 量
飼料作物	ha 91.5	t 6,588	ha 118.5	t 8,532	ha 129.1	t 9,295	ha 297.6	t 21,427
(イタリアン)	37.7	2,790	40.1	2,967	55.2	4,085	73.8	5,461
(ソルカム類)	2.1	118.7	1.7	96.1	6.1	344.8	6.1	344.8
肉 牛	頭 931	t 587	頭 532	t 468	頭 318	t -	頭 379	t -
乳 牛	244	1,255	282	1,605	252	1,347	252	1,347
豚	294	21	81	9	0	0	0	0

- (注) 1 作目欄の()内は重点作目である。
2 資料：農林水産関係市町村別統計、花き生産状況調査、推計による。
3 「-」は数値不明のもの及び推計不可能なもの。